

日本福祉介護情報学会

第10回研究大会プログラム

大会テーマ

地域包括ケアを支える情報システムの課題と展望
～日本福祉介護情報学会の10年とこれからのあり方～

会場：立教大学池袋キャンパス4号館4342教室

日時：2009年12月13日（日）

10時00分 ～ 17時00分

主催 日本福祉介護情報学会

開催校 立教大学

1 大会趣旨

日本福祉介護情報学会は2000年6月に設立され、今年で10年目を迎えます。したがって今回の研究大会は10周年記念大会となります。

これまでの大会テーマを通覧すると、

- | | | |
|-----|--------|---|
| 第1回 | 2000年度 | 21世紀の情報化福祉 |
| 第2回 | 2001年度 | 21世紀 福祉介護の情報化グランドデザイン |
| 第3回 | 2002年度 | 福祉介護情報提供の新段階 ～第三者評価、苦情解決、情報開示は新しい福祉の地平を切り開くか～ |
| 第4回 | 2003年度 | 地域ケアのシステム化と情報 ～『地域包括ケア』を支える情報化をめざして～ |
| 第5回 | 2004年度 | 地域ケアを支える情報システムとITの未来 |
| 第6回 | 2005年度 | 福祉情報化のNext Stage ～情報化福祉へ～ |
| 第7回 | 2006年度 | 福祉・介護の実践としての情報の活用 ～記録をめぐる新たな取り組み～ |
| 第8回 | 2007年度 | 福祉介護情報の新地平を拓く ～情報提供・開示と選択・活用のフロンティア～ |
| 第9回 | 2008年度 | 当事者・利用者の生活支援としての福祉情報化 |

となっており、時宜にかなったテーマを設定してきたといえます。

ところで、介護保険によるサービス提供も今年で10年目になります。この間、制度の見直しや微修正を行いつつ着実に実績を積み重ねてきているといえます。2000年と比較すると、第1号被保険者数が1.27倍になったのに対して、要介護（要支援）認定者数2.08倍、介護サービス受給者数2.49倍、居宅サービス（介護予防、地域密着を含む）受給者数2.98倍、介護給付費2.45倍を数えています（いずれも、『平成21年版厚生労働白書』）。しかし日本社会の高齢化は、いわゆる「団塊の世代」が高齢者になる2015年、さらには彼らが後期高齢者になる2025年に向けて、急ピッチで進んでいくため、それに対応する更なる要介護高齢者対策を推し進めていく必要があります。

その切り札として注目されているのが「地域包括ケアシステム」です。以前から「地域包括ケアシステム」の必要性は議論されていましたが、2003年6月に報告された厚労省・高齢者介護研究会報告書『2015年の高齢者介護』で目指すべき方向性が整理され、さらに2009年3月に公表された『地域包括ケア研究会報告書 ～今後の検討のための論点整理～』において、具体的なシステムイメージと展開プロセスが明示されたといえます。

しかし、地域包括ケアシステム構築のためには、まだまだ解決すべき課題が山積しています。例えば、福祉・介護・医療・看護・リハ・保健等の連携をどのように構築するのか、地域住民によるインフォーマルサポートをどのようにシステムに採り入れるのか、これらを支える情報システムはどうあるべきか、またそこで行われる多職種連携による情報の共有化のための共通ツールはどうあるべきか、等々です。

そこで、第10回記念大会は、「地域包括ケアを支える情報システムの課題と展望 ～日本福祉介護情報学会の10年とこれからのあり方～」をテーマに、研究と実践の両側面から、最先端の議論を展開したいと考えています。

関係者や関心を持つ多くの方々の積極的な参加を期待しています。

2 テーマ

「地域包括ケアを支える情報システムの課題と展望
～日本福祉介護情報学会の10年とこれからのあり方～」

3 主催

日本福祉介護情報学会

4 開催校

立教大学

5 日時

2009年12月13日（日） 10時～17時00分

6 会場

立教大学池袋キャンパス 主会場：4号館4342教室

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

会場問い合わせ先：03-3985-2202

<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campus.html>

《 プ ロ グ ラ ム 》

受付開始

9 : 30 ~

自由研究発表

10 : 00 ~ 12 : 30

司会 : 林 恭裕 (北翔大学)、村井 祐一 (田園調布学園大学)

10 : 00 ~ 10 : 25

静岡県老人福祉施設における4年間の情報化の変遷

○岩井 宏 (静岡福祉大学) 平井 利明 (静岡福祉大学)

10 : 25 ~ 10 : 50

自治体の安全・安心に関する施策及び関連サービスに対する住民意識調査の報告

○田中 康裕 (早稲田大学)、針尾 大嗣 (摂南大学)

10 : 50 ~ 11 : 15

医療・福祉へのICTナレッジマネジメントプロセスの検討ー医療のCS(顧客満足度)向上への暗黙知の表出化への考察からー

○田井 義人 (摂南大学)

11 : 15 ~ 11 : 40

公共輸送機関における障害者割引制度とIC式カード乗車券についての考察

○井上 俊孝 (西九州大学)

11 : 40 ~ 12 : 05

高齢者施設を中核とした緊急災害や緊急事態のための一斉連絡システムに関する実証研究

○木島 真央 (特定非営利活動法人せんだいアビリティネットワーク)、漆山 純一 (東北福祉大学)

12 : 05 ~ 12 : 30

福祉サービス第三者評価者の専門性に関する一考察ー専門性構造モデルの妥当性の検討ー

○村田 道彦 (芦屋女子短期大学)

昼食

12 : 30 ~ 13 : 20

学会総会

13 : 20 ~ 13 : 45

記念講演

13 : 45 ~ 14 : 25 高橋 紘士代表理事 (立教大学)

テーマ「日本福祉介護情報学会の10年とこれからのあり方ー地域包括ケアを支える情報化を巡ってー」

休憩

14 : 25 ~ 14 : 30

シンポジウム 14:30～17:00

テーマ「**地域包括ケアを支える情報システムの課題と展望**」

(コーディネーター) 生田正幸理事

(コメンテーター) 高橋紘士代表理事

(シンポジスト) 筒井 孝子会員 (国立保健医療科学院)

「地域連携のための情報共有の課題と展望 (地域連携パス)」

前田 みゆき理事 (日立製作所)

「地域包括ケアを支える情報ネットワーク技術の将来展望」

小川 晃子理事 (岩手県立大学)

「地域ケアにおける自立とインフォーマルサポートへの情報支援」

東内 京一氏 (厚労省老健局総務課課長補佐)

「地域包括ケアにおける行政の情報化の課題と展望」

懇親会 17:30～

■参加費

- | | | | |
|------------|--------|------------|--------|
| ① 会員 (一般) | 2,000円 | ② 会員 (学生) | 1,000円 |
| ③ 非会員 (一般) | 6,000円 | ④ 非会員 (学生) | 1,000円 |

※法人会員は2名まで一人2,000円、3名目からは一人6,000円となります。

※当日会員申込をした場合は、暫定会員として**会員と同じ参加費**になります。

※当日、受付にてお支払ください。事前の振り込みなどは受け付けておりません。

■懇親会

- (1) 会場 夜来香 (イエライシャン) FORMOSA池袋店
〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-29-2 三原ビル2F
電話 03-3590-2773 URL : <http://r.gnavi.co.jp/a302700/>
- (2) 費用 一般 5,000円 学生 4,000円
- (3) 参加申込 必ず事前の参加申込を行ってください。

■昼食

お弁当の予約はいたしません。大学周辺には食堂、レストラン、コンビニもたくさんあります。ただし、昼食時間が短く会員総会もあるため、できるだけ各自でお弁当などをご用意ください。

■宿泊

宿泊、列車・飛行機チケット等についての斡旋は行っていません。

■問い合わせ先

大会事務局（兼学会事務局）：

立教大学コミュニティ福祉学部 森本佳樹研究室 気付

〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26

《研究室》 電話 048-471-7283 FAX 048-471-7283

E-mail: jissi-mail@e-wel.ne.jp

※今年度は学会事務局が大会事務を行っています。

※事務局不在の場合が多いため、電話によるお問い合わせには応じかねます。

■学会ホームページについて

研究大会ほか、学会活動に関わるさまざまな情報発信を行っていますので、学会ホームページをご覧ください。日本福祉介護情報学会(JISSI)のホームページURL：<http://jissi.jp>

■大会会場までのアクセスマップ

池袋キャンパス地図

URL：<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campus.html>

